



たとえば ERI アカデミー

合格のための
実戦力
を身につける

建築法令のスペシャリスト

建築副主事資格を目指せ！



令和7年

建築基準適合判定資格者検定受検対策講座

【二級建適講座】開講のご案内

[令和7年4月法改正対応講座]

二級建築基準適合判定資格者検定で適用される法令については、例年1月1日時点において施行されているものとされていますが、「脱炭素社会の実現に資するための建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律等の一部を改正する法律(令和4年法律第69号)」及びこれに基づく法令の規定については、令和7年4月1日現在において施行されているものが適用されることが想定されます。当社の二級建適講座では、これらの改正に対応し、受講者の合格をサポートします！！

[令和7年の新たな試み]

新たに 映像学習コース を新設！！

集合学習コースで実施するLive 講義を会場収録しオンデマンド配信します。映像学習コースでは、いつでもどこでもWEB上で講義動画を視聴できます。

〈株式会社ERIアカデミー〉

令和7年 建築基準適合判定資格者検定受検対策講座

【二級建適講座】

〈〈開講のご案内〉〉

目 次

■ 開講にあたって 他	<u>p.1</u>
■ 【二級建適講座】の概要	<u>p.2</u>
■ 受講料	<u>p.2</u>
■ 受講申込みについて	<u>p.3</u>
■ 受講コースの流れ	<u>p.3</u>
■ 受講コースの概要	<u>p.4</u>
■ 建築基準適合判定資格者検定の 受検資格について	<u>p.7</u>
■ 受講期間中に必要なもの	<u>p.7</u>
■ 受講申込みの際の確認事項	<u>p.7</u>
■ Q & A	<u>p.8</u>

■開講にあたって

建築基準適合判定資格者は、特定行政庁や指定確認検査機関において、建築主事や確認検査員として、建築士の設計に係る建築物の法適合性の確認を行うことが主な役割となっており、建築主事資格と呼ばれることがあります。令和6年の建築基準適合判定資格者制度改正により、これまでの「建築基準適合判定資格者」は一級建築基準適合判定資格者と位置付けられ、新たに二級建築基準適合判定資格者が創設されました。二級建築基準適合判定資格者検定(以下、「本検定」という。)に合格し、かつ2年以上の所定の実務経験を有するものは、当該資格者として登録することができることとなります。

当講座は、この本検定の合格を目指す受講者本人の、明確な学習意欲と自主性を重視した講座です。

カリキュラム等に従い、最後まで前向きに自己学習に励むことができる方を受講の対象としています。そのため、受講者の皆さんには、所定のカリキュラム等に欠席することなく参加すること、課題提出等がある場合は所定の提出期限を守ること、合格に向けての自己学習を行うことなどをお願いしています。

当講座では、当社作成の演習課題に取り組み、解説資料等により復習を重ねることで、本検定での合格に向けての法令理解や記述力を養います。

「集合学習コース」と今回より新たに設けた「映像学習コース」では、自身のご都合に合わせて課題演習に取り組むことができるよう演習課題等の資料を毎月お届けします。

「集合学習コース」の集合講習では、講師によるLive講義で、事前に自宅で行った演習課題の解説や法令解説等の特別講義などを行います。「映像学習コース」では、このLive講義のオンデマンド配信を行います。

講座全体をとおして、確認審査・検査の経験や講師経験の豊富な講師陣が、答案の採点・添削等により受講者の皆さんをサポートします。令和7年の本検定合格を目指して共に頑張りましょう。

■建築基準適合判定資格者検定の受検対策講座としての実績

当社は建築基準適合判定資格者検定の受検対策講座を2011年より実施してきました。これまで実施された同検定の傾向を分析し、それに対応するため学習方法、カリキュラムの検討を積み重ねてきています。

昨年には二級建築基準適合判定資格者検定の受検対策講座である【二級建適講座】を新たに開講しました。これまで蓄積してきた受検対策講座の経験から、同検定で想定される問題の検討や、合格を勝ち取るための基礎学力の強化を図るカリキュラムを設定し、受講者のサポートを行いました。昨年の当講座における受講修了者の合格率は、全国の合格率(国土交通省発表)を大きく上回っております。

■会場での参加が難しい方も安心な「映像学習コース」を新たに設定 **New!**

集合学習コースの方が受講する各月のLive講義を会場で収録し、オンデマンド配信します。遠方にお住まいの方でもいつでもWeb上で集合講習同等の講義を視聴することが可能です。

■集合学習コースのオプション「少人数グループ学習」を新たに設定 **New!**

集合学習コースへお申込みの方を対象に、少人数で学習を行う「少人数グループ学習」をオプションで設定しました。少人数グループ学習は、講師と受講生との距離が近く、発言や質問がしやすいことが特徴です。講師は、受講生の理解度を確認しながら、基本的な問題の解き方から問題に関係する規定の内容、実戦に向けた学習のポイントなどを説明します。また受講生同士で活発に発言することで、一体感をもって合格に向けた学習に取り組む環境を得ることができます。初めての受検で不安を抱えている方や、普段法令に触れておらず法令の理解に自信のない方、グループの仲間と共に学習を進めたい方にお勧めです。

■【二級建適講座】の概要 ※一級建築基準適合判定資格者検定の受検対策のための講座です。

名称	集合学習コース		映像学習コース
受講期間	2025年4月～11月		
概要	月1回程度、事前に当社から送付する演習課題を行い、その後実施される集合講習での解説講義やトレーニング問題等を利用しての自己学習、提出いただいた答案の採点・添削等を通して、法令知識を身につけることをサポートします。 【定員】 東京 40名程度／大阪 20名程度		月1回程度、当社から送付する演習課題を行い、Live 講義のオンデマンド配信や提出いただいた答案の採点・添削を通して、自宅等での学習をサポートします。
受講場所	スタートアップ講習 (4月)	東京会場: 日本ERI本社 (ERIA카데미) https://www.a-eri.co.jp/about/access.html#01 大阪会場: 新大阪丸ビル別館 https://merinoria.co.jp/bekkan/	自宅等での課題演習(6～9月)が基本となりますが、集合学習コースと合同で開催する模擬テスト(9月)に参加できます。
	集合講習(6～9月) 直前対策講習(10月)	東京／大阪の各会場	
	模擬テスト(9月)	札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・福岡の各会場(予定)	

注) 2025年に行われる本検定は、前年と内容が変わる可能性があります。

当講座は、前年の本検定の内容に基づき実施しますので、あらかじめご了解ください。

■集合学習コースのオプション「少人数グループ学習」の概要

New!

名称	少人数グループ学習
対象者	「集合学習コース」へお申込みの方 (定員: 各会場 10名程度)
受講期間	2025年4月～11月
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップ講習後(17:50～18:20 予定)にガイダンスを行います。 ・集合講習と直前対策講習実施日の午前中(10:00～12:00)に少人数型のグループ学習を行います。 ・6月、7月は課題を通じて基本的な問題の解き方などの理解を深めます。 ・8月、9月は苦手分野の克服に向けた学習を行います。 ・10月は模擬テストの結果を踏まえたアドバイスをを行います。 ・<講師と受講生><受講生同士>の距離が近く、発言や質問、意見交換などができる魅力があります。 ・グループ学習で使用する問題は、スタートアップ講習で配付したものを基本とします。 ・各会場の申込人数が2名未満の場合は中止する場合があります。
受講場所	東京、大阪の各会場(集合講習の会場と同じです。)

■受講料

受講コース	受講料*
集合学習コース	308,000円 (税抜価格 280,000円)
映像学習コース	297,000円 (税抜価格 270,000円)
集合学習コース+ オプション(少人数グループ学習)	451,000円 (税抜価格 410,000円)

※ 受講料には、スタートアップ講習、模擬テスト、直前対策講習への参加が含まれます。

(別途申込み不要。なお、スタートアップ講習と直前対策講習について映像学習コースは参加対象外)

※ 会場までの移動に要する交通費や駐車場料金、食事代等は含まれません。

※ 振込手数料は受講申込者負担とさせていただきます。

※ 当講座は、日本建築行政会議資格取得講習会等助成事業の助成対象となっています(昨年実績)。(助成条件に関しては、助成事業実施機関へご確認ください。)

■受講申込みについて

当社が実施する建築基準適合判定資格者検定受験対策講座は、本検定の合格を目指す方のための講座です。合格するためには、各自の明確な学習意欲に基づく自主性が必要であり、当講座では個々の学習意欲を効率的に支援し、協力して目標を達成することを目指します。

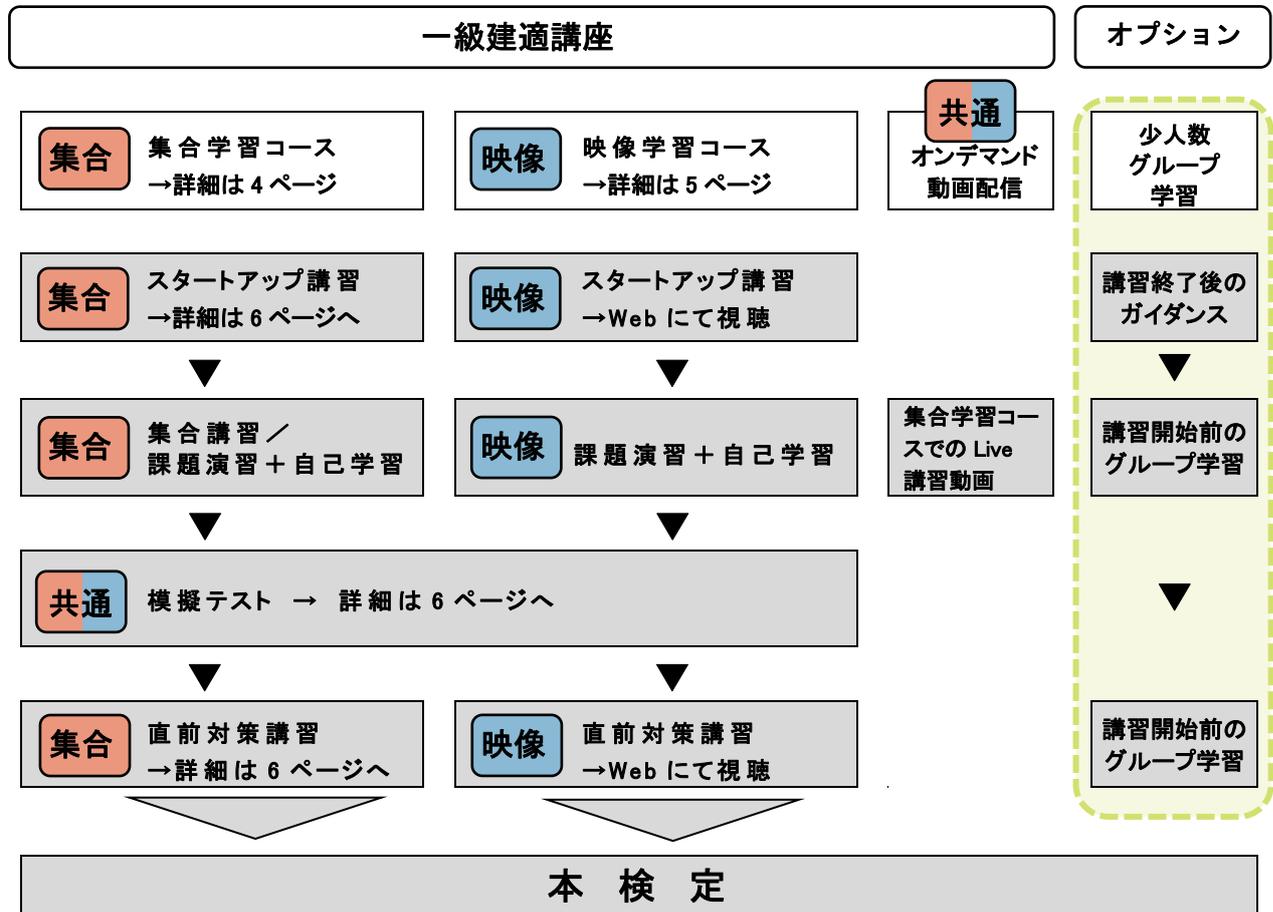
受講に際しては、「開講のご案内」により、当講座の内容をよくご理解いただいたうえでお申込みくださいますようお願いいたします。

受講申込フォーム等に必要事項をご記入のうえ、お申込みください。お申込み方法の詳細等については、別冊「受講申込要領」をご参照ください。

※当講座の内容を正しく理解のうえ受講していただくため、ご不明な点は遠慮なく事務局へお問合せください。

■受講コースの流れ

当講座では、合格に向け効果的に受講していただくために、受講者各自の環境等を考慮し、集合形式の講習を中心とした「集合学習コース」と、Live 講義のオンデマンド配信を中心とした「映像学習コース」を設定しています。また、「集合学習コース」の方を対象としたオプションとして、「少人数グループ学習」を設定しています。



■受講コースの概要

集合

集合学習コース

～ 演習課題の解説講義や法令解説等を中心とした集合講習に参加するコース ～

集合形式の講習をメインとしたコースです。

- ・ 6月から9月は集合講習を実施し、模擬テストを経て、10月の直前対策講習で最後の仕上げをします。
- ・ 自宅等での課題演習では各回、本検定の科目ごとにカリキュラムを設定し、その後に実施する集合講習では解答解説や、法令解説などの講義を行います。
- ・ 講義では、補足資料等を適宜配付し、受講者の理解を促します。
- ・ 月1回程度、送付する演習課題を、自宅等で自己管理のもと所定の手順により実施し、答案を所定の期日までに提出していただきます。
- ・ 提出された答案は当社で採点・添削し、コメント・アドバイス等を添えて受講者に返却します。
(添削答案の返却時期は、答案提出の締切日から約3週間後になります。)
- ・ 演習課題の添削結果等を集計・フィードバックし、受講者の自己学習をサポートします。
- ・ アカデミーで添削を行う演習課題のほかに、自己学習用のトレーニング問題集を配付します。
- ・ 集合講習実施後の復習用にLive講義を会場で収録し、オンデマンド配信します。

日 程 (予定)

内 容	日時・場所等
スタートアップ講習(集合講習) 学習方法の説明、 問題演習の実施等	4月22日(火) (13:00～17:30) 東京会場(日本ERI本社) 4月25日(金) (13:00～17:30) 大阪会場(新大阪丸ビル別館)
課題演習	6月上旬・郵送による演習課題の送付と答案提出
第1回講習	6月17日(火) (13:00～17:30) 東京会場 6月20日(金) (13:00～17:30) 大阪会場
課題演習	7月上旬・郵送による演習課題の送付と答案提出
第2回講習	7月15日(火) (13:00～17:30) 東京会場 7月18日(金) (13:00～17:30) 大阪会場
課題演習	8月上旬・郵送による演習課題の送付と答案提出
第3回講習	8月19日(火) (13:00～17:30) 東京会場 8月22日(金) (13:00～17:30) 大阪会場
課題演習	9月上旬・郵送による演習課題の配付と答案提出
第4回講習	9月9日(火) (13:00～17:30) 東京会場 9月12日(金) (13:00～17:30) 大阪会場
模擬テスト	9月27日(土) (10:00～16:00) ※9:45から実施説明を行います。 札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・福岡の各会場(予定) ・映像学習コースと合同で開催します。
直前対策講習(集合講習)	10月14日(火) (13:00～17:30) 東京会場 10月17日(金) (13:00～17:30) 大阪会場

注1) 集合講習は13時開始となりますので、昼食等は事前にお済ませのうえお集まりください。

注2) 内容および日時等は、変更する場合があります。6月以降の会場は、講座開始後に別途お知らせします。

注3) 講習終了後、次回の講習までの期間は、演習課題の復習やトレーニング問題集に取り組むなど日々の自己学習を継続してください。

映像**映像学習コース**

～ ご自宅などでの意欲的な自己学習を、課題送付と採点・添削、講習動画でサポート ～

課題の郵送等による添削形式に講習動画の視聴を組み合わせたコースです。

- ・ 月1回程度、送付する演習課題を、自宅等で自己管理のもと所定の手順により実施し、答案を所定の期日までに提出していただきます。
- ・ 提出された答案は当社で採点・添削し、コメント・アドバイス等を添えて受講者に返却します。
(添削答案の返却時期は、答案提出の締切日から約3週間後になります。)
- ・ 模擬テスト(9月)にご参加いただけます。
- ・ アカデミーで添削を行う演習課題のほかに、自己学習用のトレーニング問題集を配付します。
- ・ 月1回程度オンデマンド配信する講習動画を視聴して、演習課題の復習等を行っていただきます。
- ・ 講習動画は、集合学習コース受講者に対して行う講習を会場で収録し、編集を加えたものとなります。
- ・ 集合学習コースでの集合講習の講義に用いた補足資料等を追加で配付する場合があります。

※ 映像学習では、受講者の自主的な学習意欲が特に重要です。受講期間中の自己管理をお願いします。

日 程 (予定)

内 容	日時・場所等
スタートアップ講習(Webにて視聴) 学習方法の説明、 問題演習の実施等	5月2日(金)・講習映像をオンデマンド配信
課題演習	6月上旬・郵送による演習課題の送付と答案提出
第1回講習(Webにて視聴)	6月下旬・講習映像をオンデマンド配信
課題演習	7月上旬・郵送による演習課題の送付と答案提出
第2回講習(Webにて視聴)	7月下旬・講習映像をオンデマンド配信
課題演習	8月上旬・郵送による演習課題の送付と答案提出
第3回講習(Webにて視聴)	8月下旬・講習映像をオンデマンド配信
課題演習	9月上旬・郵送による演習課題の配付と答案提出
第4回講習(Webにて視聴)	9月中旬・講習映像をオンデマンド配信
模擬テスト(集合開催)	9月27日(土)(10:00～16:00) ※9:45から実施説明を行います。 札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・福岡の各会場(予定) ・集合学習コースと合同で開催します。
直前対策講習(Webにて視聴)	10月下旬・講習映像をオンデマンド配信

注) 内容および日時等は、変更する場合があります。模擬テストの会場は、講座開始後に別途お知らせします。

集合**スタートアップ講習**

日程は、受講コース概要をご確認ください。

開講にあたり、集合学習コースの受講者を対象とした「スタートアップ講習」にご参加いただきます。

- ・ スタートアップ講習では、本検定の概要、考査問題の傾向、学習の進め方や、当講座のサポート方法等について説明します。また、今後のスケジュールについても併せて説明します。
- ・ 当日、考査問題の傾向を把握していただくため、考査 A・考査 B より部分的に抜粋した問題の演習を行います。
- ・ 「集合学習コース」の受講者にご参加いただきます。

共通**模擬テスト**

日程は、各講座 受講コース概要をご確認ください。

本検定受験の前に、本検定当日と同じ時間割による全科目の模擬テストを実施します。

- ・ 講座受講や各自の自己学習による学習進度、法令知識等を総合的に確認するために実施します。
- ・ 本検定と同様の時間割で緊張感をもって全科目の演習課題に取り組むことで、本検定の事前体験ができます。
- ・ 問題は当講座のオリジナルです。
※出題範囲は、前年の本検定と概ね同じです。
- ・ 「集合学習コース」と「映像学習コース」の合同での開催となります。
- ・ 開催する会場は、決まり次第、ご案内します。

注 1) 内容の詳細等は、受講期間中に別途お知らせします。

注 2) 集合学習コース・映像学習コースの受講者以外に「模擬テスト」の参加者を別途募集します。募集内容や会場等の詳細については決まり次第、当社のホームページ等でご案内します。

集合**直前対策講習**

日程は、受講コース概要をご確認ください。

模擬テストの解答解説を中心とした集合講習を実施します。

- ・ 模擬テストの解答解説と対策講義などを中心に行います。
- ・ 「集合学習コース」の受講者にご参加いただきます。

注) 内容の詳細等は、受講期間中に別途お知らせします。

共通**オンデマンド動画配信**

～課題演習実施後の効果的な学習や法令の基礎知識習得をサポート～

課題演習の復習や法令の理解を深めるために役立つ動画を配信

- ・ 集合学習コースで実施する講習を会場で収録し、編集を加えた講習動画を配信します。主に次の内容を動画視聴（オンデマンド配信）により学習します。

◆課題演習の解説講義

演習課題実施後の復習時に視聴できる解説講義を行います。実施した課題の中で特に間違えやすい部分について、計画概要や図面の見方など解答のためのポイントを解説します。

◆法令解説等の特訓講義の解説動画

集団規定・単体規定のうち主な規定について解説します。

◆スタートアップ講習・直前対策講習の講義動画

集合学習コースの受講者を対象としたスタートアップ講習・直前対策講習での説明動画を配信します。

注) 配信時期の具体的な日程は、別途お知らせします。

■二級建築基準適合判定資格者検定の受検資格について

本検定を受検するためには、建築基準法第5条第6項に定める受検資格が必要です。二級建築基準適合判定資格者検定は、一級建築士試験又は二級建築士試験に合格した者でなければ受けることができません。

■受講期間中に必要なもの

当講座で使用する問題・資料類は当社で用意し、カリキュラムごとに配付しますが、法令集や筆記用具等は受講者各自でご用意ください。

受講票	受講手続き完了後に当社より電子メールにて受講票をお送りします。集合講習当日は、受講票をご持参ください。
建築関係法令集	本検定の会場に持ち込むことができるものをご用意ください。
筆記用具	HB程度の鉛筆・シャープペンシル、消しゴム等
卓上計算機	本検定の会場に持ち込むことができるものをご用意ください。

■受講申込みに際しての確認事項

合格するために必要な「実戦力」を身につけることを目指します

受講期間を通して所定のカリキュラム等に必ず参加すること、課題提出等がある場合は所定の提出期限を守ること、自宅等での自己学習を自主的に行うこと等をお願いします。

建築基準法等の法令知識の自己学習(予習・復習)は必須条件です

当講座は“合格虎の巻”のような教科書本等を使って説明するような形式ではありません。

受講に際して必要な建築基準法等に関する知識の研鑽は、あくまでも受講者各自の自己学習が基本となります。建築基準法や関係法令等の正しい知識が、本検定での合格への基礎となります。

集合学習コースの集合講習では、課題演習の解説や必要な法令のポイント解説を中心に行いますので、法令知識の自己学習(予習・復習)が必須となります。

映像学習コースも同様に、自己学習(予習・復習)を前提とし、課題演習はその理解度を確認するためのものであり、添削内容を次のステップに活用することが基本となります。

普段とは違う環境を提供することで、合格へ向けてのステップアップへと繋がります

当講座では、「集合学習コース」「映像学習コース」共に、本検定に準じた演習課題を独自に作成しています。演習課題の解答解説および補足資料等は、カリキュラムに基づき随時配付します。

「曖昧な法令知識」や「過去問の反復」に頼った学習では真のレベルアップはできません。自己学習による知識をもとに、従来の学習方法では得られない「集合講習」や「添削」による普段とは違う新しい学習環境を提供します。

【免責事項】

地震、台風、津波その他の自然災害、火災、戦争、テロ、ストライキ、重大な疾病、輸送機関・通信回線の事故その他やむを得ない事情により集合講習等を中止することとなった場合、各コースの実施方法を変更することで代えさせていただきます。

【動画の視聴についての注意点】

- ・動画を視聴するには、最新バージョンのブラウザが使用でき、インターネット接続が良好に行えることが必要です。
- ・スマートフォンによる視聴では、パケット通信料定額制の加入契約をしていない場合、通信事業者から高額な料金請求が生じる場合がありますので特にご注意ください。

■ Q & A

Q	【二級建適講座】の受講要件はありますか？
A	受講に際して特に要件は設けておりませんのでどなたでも受講いただけます。ただし、二級建築基準適合判定資格者検定の受検を目的として受講される場合は、ご自身にて受検要件をご確認ください。
Q	4月に講座を開講するのはなぜですか。
A	令和7年の二級建築基準適合判定資格者検定は、11月中旬に実施されます 同検定合格のためには少しでも早い受検対策が必要であり、スタートアップ講習を機に自己学習を始めることが、合格への第一歩です。 これまでの講座の経験から、約半年間のカリキュラムを設け段階的に学習を積み重ねることが効果的と考えています。
Q	普段の業務では馴染みのない法令等に関して、基礎的なことから学習できますか。
A	当講座のカリキュラムは、課題演習を通して建築基準適合判定資格者検定での合格に必要な法令知識や実戦力を身につけることを目的としています。法令に関する基礎的な知識の学習は、法令集や参考書などを活用して受講者ご自身にて行っていただくことが基本となりますが、講義の中でも基本的な法令について解説していく予定です。
Q	講座で使用する問題や資料にはどのようなものがありますか。
A	使用する問題や資料は、建築基準適合判定資格者検定の内容に準じて弊社で作成した「演習課題」と、「トレーニング問題」が中心となります。また、法令理解のための補足資料なども配付します。なお、自己学習において法令に関する基礎的な知識を身につける際には、法令集と併せて市販の参考書や解説書等を活用することも有効です。演習課題はすべて弊社オリジナルとなります。
Q	集合学習コースと映像学習コースでは、問題や配付資料等に違いはありますか。
A	問題や配付資料には、コースによる違いはありませんが、集合学習コースでは、配付を行わない映像のみの資料を用いることがあります。
Q	受講料について、助成制度の対象になりますか。
A	当講座は、日本建築行政会議資格取得講習会等助成事業の助成対象講座となっています(昨年実績)。(助成条件に関しては助成事業実施機関へご確認ください。)

お問合せ先

株式会社ERIアカデミー 建築基準適合判定資格者検定受検対策講座 事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂 8-10-24 住友不動産青山ビル南館 1階

E-mail: kenteki@a-eri.co.jp URL: <https://www.a-eri.co.jp/>

TEL: 03-5775-7848(平日 9:00-17:00) FAX: 03-5474-1007